

## 岩崎 萌森 個展

IWASAKI Memori solo exhibition



www.kunstarzt.com

### 道具に寄る衣、衣に寄る型

Clothes that suit tools, shapes that suit clothes



「BIWAKO ビエンナーレ 2022」 展示風景

KUNST ARZT では、2年振り2度目となる岩崎萌森の個展を開催します。  
岩崎萌森は、織り、編み、結びを軸に、衣の本質を探究するアーティストです。  
縫製や型紙は一切使用しないことで、近現代のファッションとは一線を画し、  
原始的な魅力や力強さを内包しています。  
本展は、古道具を簡易的な木杵機として用いて制作する「道具に寄る衣」と畳  
三畳分の織物を使い、着物の構造を真似た「衣に寄る型」との作品構成です。  
ご注目ください。  
(KUNST ARZT 岡本光博)

#### 展覧会内容

##### 「道具に寄る衣」

古道具を簡易的な木杵機として使用して、その痕跡や特徴的な形をひろいながら織物を織る。すると普通の織機では作ることのできない、不思議な形の織物が出来上がる。

私はこの道具によって形が決められる織物を「道具に寄る衣」と名付けた。

織物の矩形を余すことなく使用してきた日本古来の考え方では、着物の反物規格にあわせた織り機の和機など、織物の用途によって道具を決めるという発想が見受けられる。「道具に寄る衣」ではその立ち位置を逆にし、道具から織物の形を考え直してみた。

##### 「衣に寄る型」

織物の大きさは大きめに決まりがある。着物の一反、畳の一畳。それらの大きさの型を入れ替えながら、畳3畳分の織物を使い、着物の構造を真似て形作った。

用途に合わせて決められた型、織物の大きさの無駄のない配分を入れ替えることによって、足りない部分や足りない部分が発生する。それぞれに編み上げて組み合わせると、どこか不思議で原始的な造形となった。

#### 経歴

1999年 愛知県生まれ  
2021年 成安造形大学芸術学部芸術学科 空間デザイン領域コスチュームデザインコース卒業

#### 個展

2020年 「織 編 結 制限と可能性」 ArtSpotKorin (京都)  
2021年 「織 編 結 反と角」 KUNSTARZT (京都)

#### 主なグループ展ほか

2019年 「NIF YOUNG・TEXTILE 展」 東京国際展示場 JAPANTEX 内 (東京)  
2020年 「世界で一枚のシャツ展」 ギャラリーサラ (滋賀)  
2021年 「成安造形大学卒業制作展」 京都市京セラ美術館 (京都) 優秀賞  
2021年 「SELECTION 卒業制作展 2021」 成安造形大学 (滋賀)  
2021年 「毎日・DAS 学生デザイン賞」 入選  
2021年 「SEIAN ARTS ATTENTION 14 Re:Home」 成安造形大学 (滋賀)  
2022年 「はん、ぶく。」 ギャラリーヘプタゴン (京都)  
2022年 「染織 tomorrow-7 大学推薦若手の饗宴-」 ギャラリーマロニエ (京都)  
2022年 「自我像展」 ギャラリーマロニエ (京都)  
2022年 「国際芸術祭 BIWAKO ビエンナーレ 2022」 旧伴家住宅 (滋賀)

2023年3月7日 (火) から12日 (日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

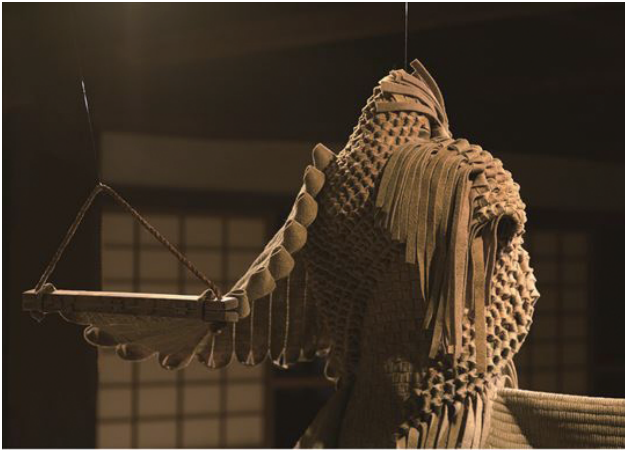
090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント

織り、編み、結びの連続する形の美しさや、その制作工程・道具に関心を持っており、両者を切り離すことなく、制作工程・道具類とそれによって作られた織物を同等に扱うことによって露わになる構造の美しさをテーマとして作品を制作している。

近年は、自ら木枠機（簡易的な織機の一つ）を制作することから取り組み、古道具をベースに家具などを織機として使用する試みを行なっている。



上 4点  
織 編 結 反と畳  
2022  
ポリエステル、麻糸、古材、古道具

左  
反と角Ⅱ -a、-b  
2022  
H1180mm W1600mm D100mm